

第3次大田市総合計画 基本構想の体系概要（案）

WHY なぜ、大田市はまちづくりを行うのか

基本理念：計画の目的・使命 **ここが“しあわせ”** **ここで“しあわせ”**

- ・誰もが心穏やかに、自分らしく暮らし、それぞれの歩幅で日々を重ねながら、支え合いの中で安心や誇りを感じられる暮らしを実現する。
- ・その暮らしは、大田市の豊かな自然、受け継がれてきた歴史や文化、そして人々の営みに支えられていることを大切にす。
- 大田市で暮らす一人ひとりの「しあわせ」と、この土地に息づく営みやつながりを未来へ守り伝えていくことを、まちづくりの根本とする。

WHAT この計画で何を実現しようとするのか

将来像：この計画で目指す姿 **夢を育み、明日を拓く。みんなの笑顔があふれるまち おおだ**

- ・子どもや若者が大田市の自然や歴史に触れながら可能性を育み、このまちに誇りを持って未来を描ける環境を整える。
- ・時代の変化を捉え、大田ならではの資源を磨き、新たな生業（なりわい）や活力を生み出しながら、このまちの未来を自らの手で切り拓いていく。
- みんなの力によって未来を切り拓き、誰もが支え合いながら暮らす日常を積み重ね、次世代へ手渡していくことで、その先にある「みんなの笑顔があふれるまち おおだ」を実現する。

HOW その実現に向けて、どのような姿勢でまちづくりを進めるのか

基本姿勢：計画の進め方 **共創**

市民、事業者、行政など多様な主体が対等なパートナーとして知恵を出し合い、共に夢を語り共に行動しながら将来像の実現を目指す。

共創のあり方 ～共に創るまちづくりの目指すべき方向

- ①「誰もが役割を分かち合い、支えあう」共助の地域社会を育む
- ②「誰一人取り残されない」包摂的なまちづくりを進める
- ③多様な立場や声を尊重し、「安心」と「活躍」の場を創り出す
- ④市民・地域・行政が「信頼」で結ばれた対等なパートナーとなる
- ⑤地域資源を研ぎ澄まし、創意工夫で、自立的に課題を解決する「自立の力」を育む

6つの基本方針（案）

- 基本方針Ⅰ 仕事となりわいで拓く**
確かな経済を支える「仕事」と、自分らしく生きる「なりわい」を積み重ね、豊かさが広がる大田の未来を拓きます。
【政策分野】産業、雇用
- 基本方針Ⅱ 人とこころを育む**
個性を尊重し、共に学び高め合いながら、ふるさとへの誇りと共に、自分らしく健やかに生きていける豊かな人とこころを育みます。
【政策分野】教育、ふるさと教育、地域人材、歴史、文化
- 基本方針Ⅲ 安心な暮らしを紡ぐ**
福祉の充実や地域での支え合いを通じて、誰もが自分らしく居場所を持ち、住み慣れた地域で健やかに、安心して暮らし続けられる日々を紡ぎます。
【政策分野】結婚・出産・子育て、健康、医療・福祉、支えあい、中山間地域の機能維持
- 基本方針Ⅳ 暮らしの基盤を築く**
デジタルの活用や最適化された役割・機能分担により、持続可能な暮らしの仕組みを整え直し、将来にわたって住み続けられる都市基盤を築きます。
【政策分野】都市環境、ネットワーク、安心・安全
- 基本方針Ⅴ 自然と共に生きる**
山・海・里の豊かな恵みを慈しみ、自然の循環と調和した営みを深めながら共生し、今ある美しい風景を次世代へと引き継ぎます。
【政策分野】自然、生活環境、脱炭素、循環型社会、上水道
- 基本方針Ⅵ ふるさとを明日へつなぐ**
市民と行政が対等なパートナーとして、対話を通じて地域の課題に挑むとともに、適切な行財政運営を図り、大田の今を明日へとつなぎます。
【政策分野】協働・共創、小さな拠点・地域運営組織、移住・定住、行財政運営



総合戦略・人口ビジョン（R8年度に検討予定）

- ・少子高齢化の進展に的確に対応し人口減少に歯止めをかける
- ・地域経済の縮小を抑え、成長力を引き出す
- ・人口減少社会に適応した社会構造を構築する
- ・出産・子育て、生活サービスの維持等により、暮らしの基盤を守る 等

→大田市の将来人口目標を定め、上記の観点から、重点的に推進する施策をとりまとめる

※基本方針（案）は検討のためのたたき台として整理したものであり、現時点で市として決定したものではございません。